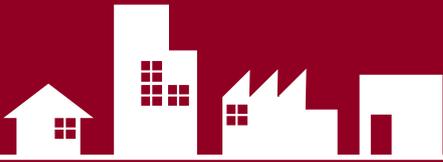


ぶぎんのあるまじ



シリーズ第12回 北浦和

歴史と文化が共存するまち 北浦和

JR北浦和駅周辺は、昭和初期に住民による街づくりが進められた地域です。現在も駅周辺には古くからの商店街が立ち並び、学校、公園、病院などの施設が駅を中心にコンパクトに集まっています。



かくしんじ 廓信寺 JR北浦和駅 東口 徒歩7分 足立坂東三十三観音霊場 2番札所



廓信寺は慶長年間（1609年）創建の古刹で、浦和郷の代官中村弥右衛門尉吉照が、岩槻城主高力清長追福のために建立しました。本尊の木造阿弥陀如来座像は鎌倉時代のもので、県有形文化財となっています。門前の紅白梅は3月に見事な花を咲かせます。



廓信寺の近辺はサツマイモの女王「紅赤芋」発祥の地



廓信寺の参道に「紅赤の発祥地」という解説板があります

1898年（明治31）、木崎村針ヶ谷（現在の北浦和）の山田いちはさんは、自分の畑で突然変異した鮮やかな紅色のサツマイモを発見しました。食べてみると味もよく、市場でも高く売れましたが、いちはさんはひとり占めすることなく、ほしいという人には苗を分け与えました。これが紅赤（金時）で、現在では「川越イモ」としてすっかり有名になりました。

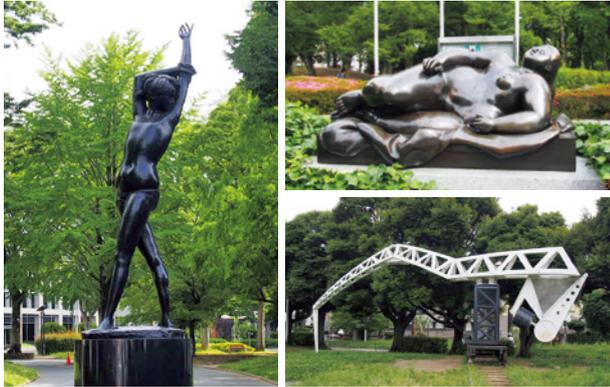


山田いちはさんの「紅赤」にかけた生涯を描いた児童向けの書
青木雅子著（けやき書房）



北浦和公園 JR北浦和駅 西口 徒歩2分

駅バスロータリーを抜けるとすぐに、緑豊かな北浦和公園の入り口です。埼玉大学の移転後に公園に整備され1974年（昭和49）に開設、隣接する浦和北公園と一体となり公園が形成されています。1982年（昭和57）には、公園内に県立近代美術館がオープンし、公園内にはたくさんの彫刻のオブジェが展示されています。



県立近代美術館

埼玉県ゆかりの芸術家のほか、国内外の現代美術作品を多く収蔵しています。また、開館当初から優れたデザインの椅子を収集「椅子の美術館」でもあり、常時数十種類を館内に展示、自由に座ってそのデザインを楽しむこともできます。



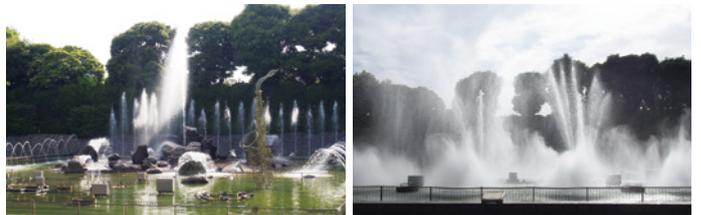
文教都市としての歴史を重ねる北浦和

文教の街として知られる北浦和。そのルーツは、第20番目の官立高等学校として1921年（大正10）に設立された「旧制浦和高等学校」からはじまります。当時の東京帝国大学への合格者が第一高等学校に次いで二位の浦和高等学校に、全国から優秀な学生がこの地に集まってきたのです。

現在も、県内有数の進学校として知られる「県立浦和高等学校」、中高一貫教育で高い進学率を誇る「市立浦和中学校・高等学校」があり、北浦和は教育の街です。

音楽噴水

北浦和公園の中央付近にある噴水は、2時間おき（10時～20時）に音楽が流れ、それに合わせて噴水の水がまるでダンスをするように動き、人々を魅了しています。夜にはライトアップもされます。



旧制浦和高等学校50周年の記念に建立された、寮歌を歌う浦高生の像「学生」

当時の位置のまま保存されている旧制浦和高等学校正門



日本一長いけやき並木 埼玉大通りのけやき並木



北浦和駅西口から国道17号線を越えると、所沢までの約17kmの沿道に2,417本のけやきが植えられ、緑のアーケードがつけられています。

北浦和公園・浦和北公園は、旧制浦和高等学校が開校した場所です（1950年より埼玉大学文学部キャンパスとなる）。公園東側には旧制浦高時代の正門が当時のまま保存されており、公園内には旧制浦高を記念するモニュメントが多数建立されています。

